

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	10月	18日	(記入者) 横山真紀子	
取材参加者	荒井	垣内	久門	小西	島田
	鶴田	横山			
取材対象先	黒滝村：鳳閣寺の木造理源大師倚像など2躯				

所在地	吉野郡黒滝村鳥住662-2				
所有者(取材 対応者)名	鳳閣寺、対応は黒滝村の*** さん(個人情報守秘)		連絡先 0747-62-2031(黒滝村役場)		
			PCアドレス		
取材申込	申込先・行政名など：黒滝村企画政策課 **さん				
市町村 指定文化財	彫刻	2躯	1:木造理源大師倚像 1991(平成3)年1月12日指定、2:木造日蔵上人倚像 同上		
	建造物	棟			
文化財指定理由	1:粗豪ともいえる表現の中に、厳しい行を積む修験者の剛毅さが混じり、形式平板化した近世彫刻にはみられぬ彫刻のよさを残している。 2:中世禅僧の肖像彫刻の形式を踏襲した本像が伝承通り日蔵上人の像とすれば類品の少ない像として貴重。				
<b>文化財の状況</b>					
防火対策	設備・対策・点検・通知方法など			記入者の感想	
	本堂両脇に消火器を1本ずつ備えている。			出来得る限りの対策はされている。	
獣害対策	被害の有無、対策など			記入者の感想	
	山中のため野生動物の出没はあるが、通常は 嚴重に施錠されており、問題はない。			特になし。	
保存～継承 へ 苦勞と 今後の課題 と対策	鳳閣寺は現状地元の方のご厚意によって管理がなされている。管理者の*** さんは幼少期に鳳閣寺の僧に重篤な病を救われたという体験があり、恩返 しのつもりで心をこめて管理をされている。しかしながら、急峻な坂の上 にある山寺で、年齢的なこともあり、ご厚意に頼っての今の管理方法には限 界がある。村の宝を守るため、今後の管理については行政にも協力を仰ぎた いところである。				
<b>取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)</b>					
取材時に所在不明だった像もあったが、取材中に発見することができた。保管の文化財の 目録などが作成できれば、管理に役立つのではないか。					

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	10月	18日	(記入者) 横山真紀子	
取材参加者	荒井	垣内	久門	小西	島田
	鶴田	横山			
取材対象先	黒滝村：鳳閣寺の木造理源大師倚像など2躯				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 木造理源大師倚像、木造日蔵上人倚像

木造理源大師倚像	木造日蔵上人倚像
	
鳳閣寺本堂	本堂に置かれた消火器
	
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域（廃寺等）の歴史や特徴を記入
<p>理源大師聖宝(832～909)は京都・醍醐寺を開いた著名な真言密教の僧であり、修験道中興の祖と仰がれる。本像はくっきりとした目元に大師の意志の強さがあらわれる印象的な像である。像内に墨書があり、天正15（1587）年の作と考えられる。日蔵上人(905～985:生没年諸説あり)は当寺の二代目住職。天下安穩のため、一万卒塔婆を建てたという。像は桧の一木造で、室町時代後半の作とみられる。</p>	<p>草創は678年に役小角が国家安泰の祈願道場として開山。895年に聖宝が鳳閣寺を開き、修験道の拠点とする。聖宝が吹き鳴らした法螺貝が百螺の音声となり、恐れをなした大蛇を退治した伝承により、百螺山の山号に。共に大蛇退治をしたという箱屋勘兵衛はしばしば聖宝の好物の餅や飯（いい）を持参し訪れ、戯れに聖宝が「餅飯殿」と呼んだことから、勘兵衛が住んでいた付近（現・奈良市餅飯殿町）をそう呼ぶようになった。</p>